



SAP Ariba 

機能の概要

Purchase Orders Supplier API

Franz Uhr, SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Purchase Orders Supplier API

今までの課題

現時点では、Purchase Orders Supplier API は、Ariba Network に登録されたバイヤーのみが利用することができます。これまでサプライヤには、バックエンドとの標準的な連携以外には、API を使用して Ariba Network アカウントから注文書データを自由に抽出する方法はありませんでした。

対象ソリューション

SAP Ariba APIs
SAP Ariba Developer Portal
SAP Ariba Network

SAP Ariba で問題解決

この機能により Purchase Orders Supplier API がサプライヤに対して有効になります。

Purchase Orders Supplier API により、サプライヤが Ariba Network からヘッダーおよび明細の詳細を取得することができます。この API では、以下のドキュメントタイプがサポートされています。

注文書
分納契約
分納契約リリース

関連情報

この機能は、該当するソリューションおよびアカウントを使用しているすべてのサプライヤに対して自動的に有効になりますが、設定を行う必要があります。

導入の難易度
対象エリア

やや複雑
グローバル

主なメリット

Ariba Network から注文書データを抽出することは、サプライヤがこのデータを内製のアプリケーション、レポートのための分析ツール、その他の外部処理のニーズにフィードする際に有用となるでしょう。

API によってデータアクセスのメカニズムをより安定化および標準化することにより、既存のアプリケーションを拡張して、新しい革新的なアプリケーションを構築できるようになります。

前提条件と制限事項

貴社のアプリケーションは、SAP Ariba API 管理によって承認され、OAuth 認証に準拠している必要があります。詳細については、「SAP Ariba Developer Portal」のヘルプを参照してください。

サプライヤ管理者が OAuth クライアント ID をプロファイル設定に追加する必要があります。

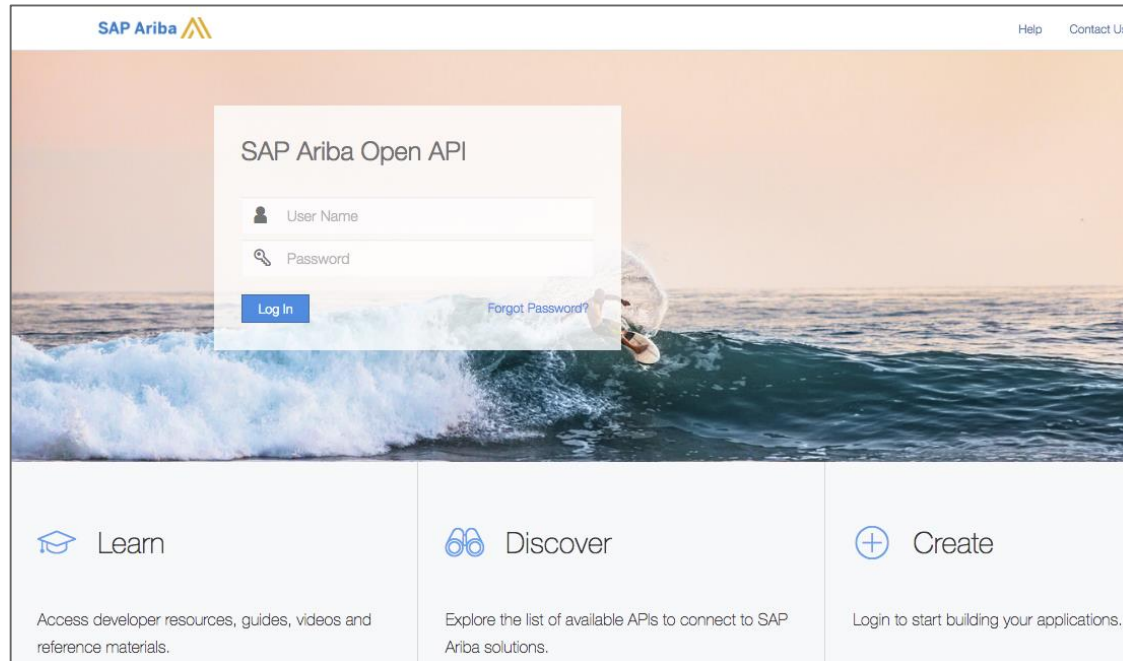
サプライヤによる SAP Ariba Developer Portal を介した SAP Ariba APIs の使用は Ariba Network の

「エンタープライズアカウント」タイプに制限されています。

機能の概要

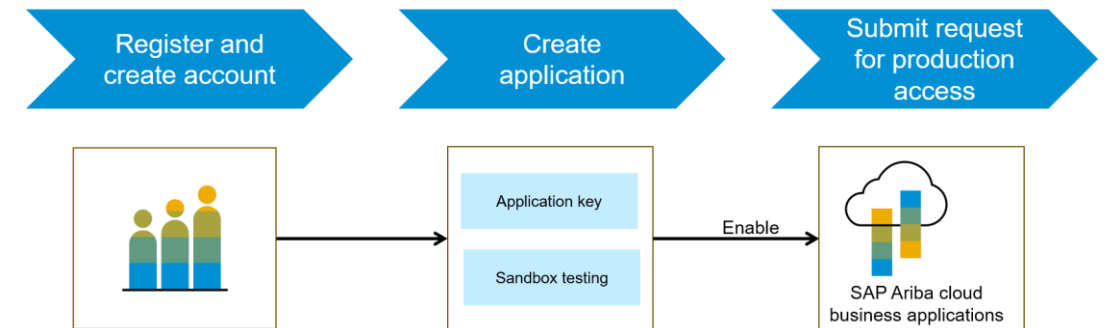
説明: Purchase Orders Supplier API

Ariba Network API を使用するアプリケーションを開発する方法



<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



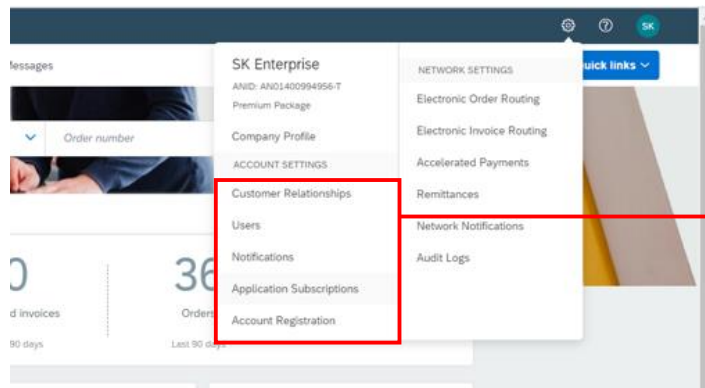
1. Developer Portal に登録後、Ariba Network で使用できる API を探します。API の詳細な説明も利用できます。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> でサービスリクエストを提出して、作成したアプリケーションの「本稼動アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、アプリケーションの OAuth クライアント ID が生成されます。
4. 管理者として、OAuth クライアント ID をプロファイルに追加します（次のページを参照）。

機能の概要

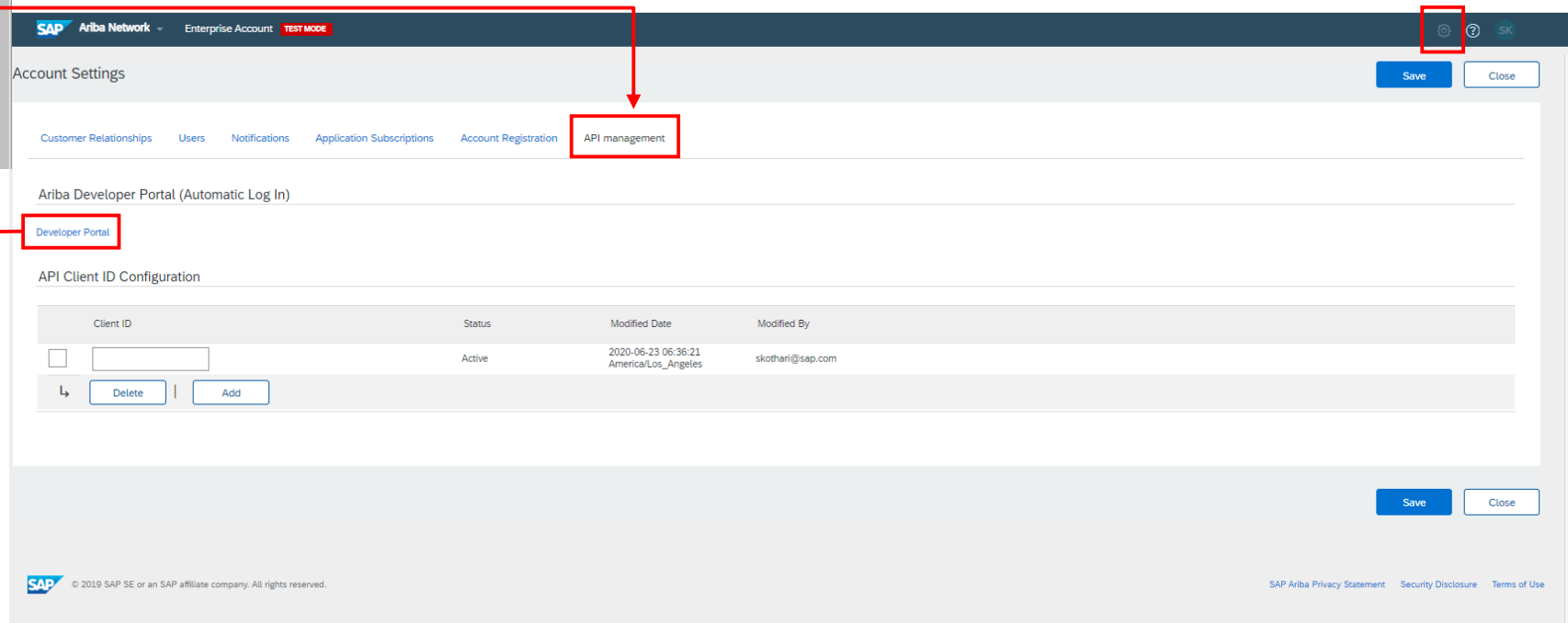
説明: Purchase Orders Supplier API

サプライヤアカウント設定

Ariba Network のサプライヤホームページで、右上隅の **[設定]** ボタンをクリックし、**[アカウント設定]** オプションのいずれかをクリックしてアカウント設定ページに移動してから、**[API 管理]** を選択します。



[API クライアント ID 設定] セクションで、作成するアプリケーションに対して SAP Ariba Developer Portal によって作成されたクライアント ID を入力することにより、API 経由でデータにアクセスできるようになります。



Developer Portal への直接アクセス

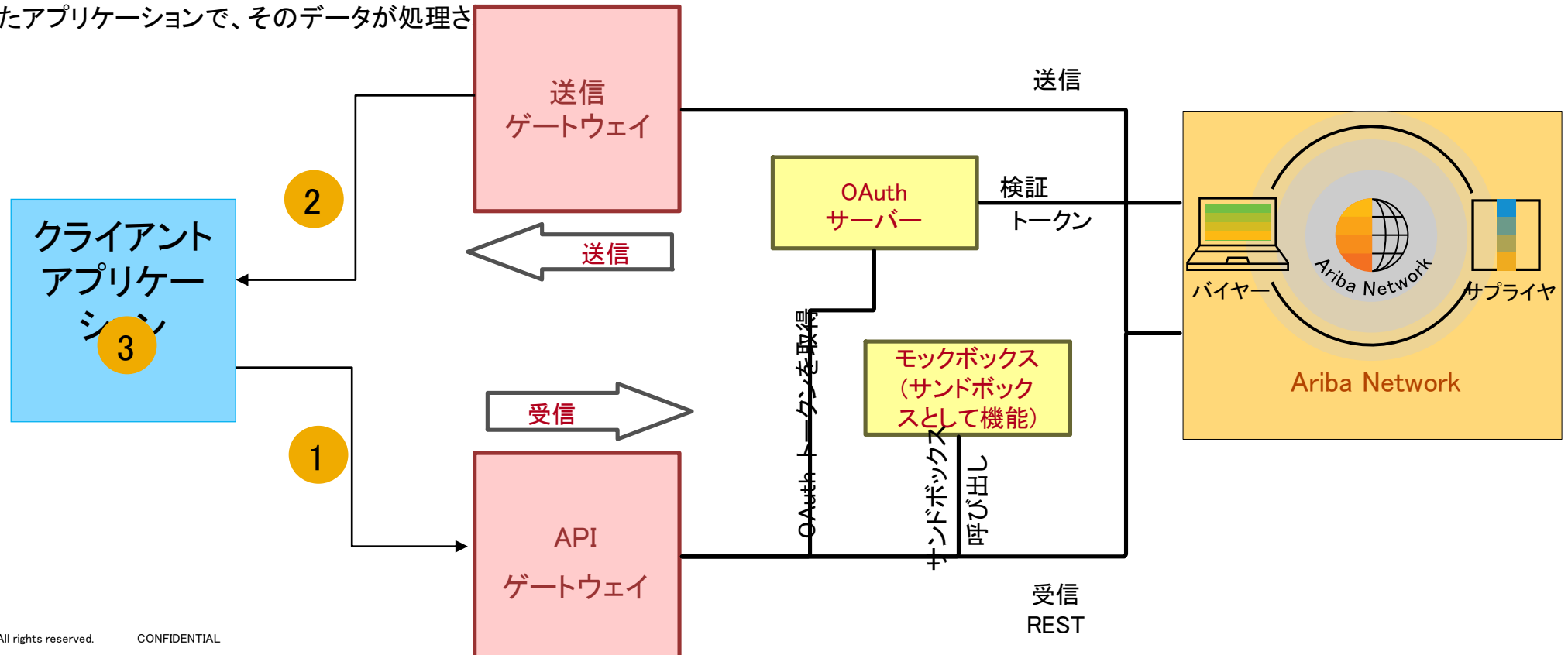
機能の概要

説明: Purchase Orders Supplier API

この API は、サプライヤが Ariba Network からデータを抽出するシナリオ（レポートの生成、またはほかのアプリケーションや目的のためのデータの使用）などで有益です。

ワークフロー:

1. クライアントアプリケーションが定義された一連のパラメータを使用して Ariba Network にクエリを実行します。次のスライドのコード例を参照してください。
2. API がクエリに応答し、一致するすべてのレコードを含む JSON データセットを書式設定済みの構造で返します。
3. データを受け取ったアプリケーションで、そのデータが処理さ



機能の概要

説明: Purchase Orders Supplier API

パラメータ

この API により以下のエンドポイントが提供されます。

- ・ GET /orders

/orders エンドポイントにより、指定したバイヤー、サプライヤ、オーダー ID と一致するオーダーヘッダーデータが取得されます。

- ・ GET /items

/items エンドポイントにより、指定したバイヤー、サプライヤ、オーダー ID と一致するオーダー品目データが取得されます。

ユーザーは、エンドポイント URL に対する拡張でパラメータとして特定のフィルタを使用することができます。使用できるパラメータおよび構文に関する情報については、Developer Portal の API ドキュメントを参照してください。

サンプルコード

以下のサンプルコードで、[{{runtime_url}}](#) を、SAP Ariba Developer Portal のこの API の Discovery ページにある Environment Details テーブルに記載されている、目的の実行時 URL に置き換えてください。

以下の例では、orderStatus 1234 で North10B documentNumber に関するオーダーヘッダーデータが取得され、1 ページにつき 15 レコードが表示されます。

[GET {{runtime_url}}/headers?\\$filter=orderStatus eq 1234 and documentNumber eq North10B&\\$top=15](#)

その他の例については、help.sap.com のオンラインドキュメント *Purchase Orders Supplier API* を参照してください。